

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

研究会基本情報

タイトル: 「インドネシア周辺の少数言語・危機言語ドキュメンテーションに関する研究ネットワークの構築」(平成 27 年度第 1 回研究会)

日時: 2016 年 1 月 23 日 (土) 10:00 - 17:30

場所: 場所: AA 研マルチメディアセミナー室(306)

阿部優子 (AA 研共同研究員, AA 研特任研究員)

「言語調査成果還元を試み: タンザニア・ベンデ語教科書のケーススタディ」
ビジネスミーティング (活動報告と来年度の計画策定)

各自のウェブページ作成作業

研究会の概要

午前中はタンザニアのバントゥ系言語の調査・研究を行っている阿部優子氏が『ベンデ語教科書』を昨年度に出版するまでの経緯を報告した。この教科書は既に 10 年以上ベンデ語の現地調査を行っている阿部氏が話者コミュニティとの共同作業により編集したものである。主要なコンサルタントと草稿を作成した後、話者コミュニティの間で回覧したことにより、話者の多くにとって内容的にも心情的にも受け入れやすい教科書となったこと、また、その過程で著者の側でもベンデ語への理解が深まったことなどが報告された。質疑応答では阿部氏の試みを高く評価するとともに、教科書作成・配布後の現地の状況についての報告を期待する意見があがった。

午後は今年度前半にインドネシアの 4 か所 (Jambi, Manado, Kupang, Denpasar) で行った言語ドキュメンテーションワークショップの報告と来年度の計画について議論を行った。

さらに、昨年度構築した言語データ (音声データ) をメタデータとともに公開するためのブログに各自のページを作成する作業を行った。現在使っているシステムは試験的なもので参加者が一つの ID とパスワードを共有する形式になっているため、編集合戦が起きるというハプニングもあったが、最終的には参加した共同研究員が何らかの形で自分のページを作成した。